

神話伝説の山里

たかちほごう

# 「高千穂郷」通信

平成22年9月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.93

真ん中九州 阿蘇・高千穂・竹田  
3県3地域観光協会連携協定 調印式

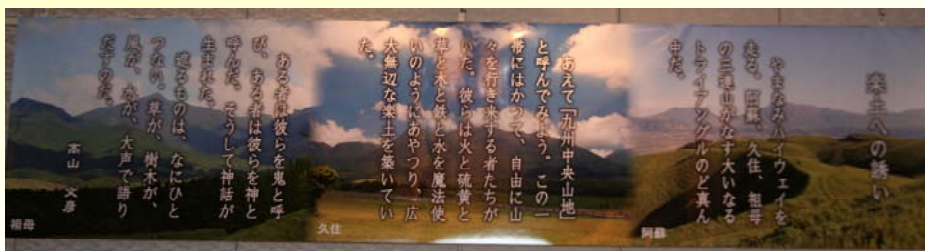


がっちり握手を交わす 左から稲吉淳一阿蘇市観光協会会長、佐藤哲章高千穂町観光協会会長、首藤文彦竹田市観光ツーリズム協会会長

9月8日、阿蘇市観光協会・高千穂町観光協会・竹田市観光ツーリズム協会が手を取り合い、「真ん中九州地域観光協会連携協定」を締結しました。来年3月の九州新幹線全線開業に向けて、三地域がスクラムを組み、九州で、いや全国で最強の滞在型観光ルートを共同開発し、より多くの観光客を呼び込み、地域活性化を目指します。

垣根を越えた連携は口で言うほど簡単ではないのですが、担当の熱い思いによって3県にまたがった連携が実現したものです。今後の展開に期待が持てます。

締結式では、高千穂町出身の作家・高山文彦さんの「楽土への誘い」というメッセージが披露され、参加者は悠久の世界の心地よい余韻に浸っていました。



「楽土への誘い」(パネルは高千穂町観光協会の苦心の作品です。)



郷土愛を語る高山文彦氏

## 「長寿者訪問」 ご長寿おめでとうございます。



今年度百歳を迎えられる飯干三穂さんとご家族

百歳以上の長寿者を県民挙げて祝福するため、西臼杵郡内で今年度百歳及び百五歳に到達されるご長寿者を内柵保支庁長が訪問し、内閣総理大臣及び知事からの祝い状と記念品を贈呈しました。

今年度百歳を迎えられるのは、岡田ミツルさん、佐藤ツルミさん、村上カズノさん、上田ヨシコさん、甲斐アサノさん、佐藤イヨさん、興梶ハツさん（以上高千穂町）、甲斐ツルエさん、津隈アキノさん、戸高キクノさん、佐藤マサカさん（以上日之影町）、佐藤シゲさん、飯干トシエさん、飯干三穂さん

（以上五ヶ瀬町）の十四名です。

百五歳を迎えられるのは、押方ヨシエさん（日之影町）です。

みなさま、ご長寿おめでとうございます。いつまでもお元気で！！

## 「敬老祝賀会」 ご長寿おめでとうございます。



ごかせ荘での三ヶ所保育園児によるアトラクション



支庁長のお祝いのあいさつ

9月16日に五ヶ瀬町の特別養護老人ホームごかせ荘で敬老祝賀会が開催され、今年百歳になられる佐藤シゲさんをはじめ施設入所者とその御家族などが出席されました。

アトラクションでは、三ヶ所保育園児による元気いっぱいのダンスが披露され、入居者をはじめ参列されている皆様から盛んな拍手が送られていました。

超高齢化社会を迎えるなかで、私たち一人ひとりが高齢者の皆様に敬う気持ちを忘れず、社会全体で御高齢の方々の生活を支えていきたいと思っております。



## 西臼杵型産直住宅交流ツアーの開催

9月25日、五ヶ瀬町において『西臼杵型産直住宅伐採ツアー』（西臼杵型産直住宅推進協議会・西臼杵林業振興協議会主催）が開催されました。

今回は、福岡県でマイホームの建築を予定している10家族（30人）が参加され、高性能林業機械を使った間伐と製材工場（もくみ）の見学を行いました。

参加者は、住宅の材料となるスギが、素晴らしい環境で育てていることと、森林を守っていくためには、間伐などの手入れが欠かせないことを改めて実感したようです。



高性能林業機械を使った間伐作業に圧倒されていました。



五ヶ瀬ワイナリーの広場で、地元加工組合「横っちょ」の手作り弁当とけんちん汁の昼食に大満足です。



県土整備部長賞受賞者  
左端が(株)竹尾組

## 平成22年度宮崎県優良工事表彰

9月1日、平成22年度宮崎県優良工事の表彰式が行われました。

この表彰制度は、今年度より創設され、昨年度に完成した県発注工事のうち、施工管理や安全対策、地元調整等において、他の工事の

模範となるような取り組みを行った工事を「優良工事」として表彰するものです。

西臼杵支庁発注工事では、県土整備部長賞を(株)竹尾組が、西臼杵支庁長賞を(有)富高産業、高千穂土木(株)、岡田工業(株)がそれぞれ受賞しました。



西臼杵支庁長賞受賞者  
左から岡田工業(株)、高千穂土木(株)、  
(有)富高産業

## JA高千穂地区果樹振興会くり部会による支庁長へのくり贈呈



馬崎会長（中央）と尾崎副部会長（右）から、くり(3L)の贈呈を受けました。

9月22日、JA高千穂地区果樹振興会くり部会の馬崎部会長、尾崎副部会長から、支庁長へのくり贈呈が行われました。

高千穂ひのかけくりは、規格外品の混入がきわめて低いこと、品質が粉質で菓子用に向くことなどから、県外の菓子商から高く評価されており、取引価格は日本一とされています。

これらは、くり農家の日々のたゆまぬ努力と、収穫作業省力化や選果レベルの向上など研究の成果であり、これからもさらなる品質の維持、向上が期待されます。

なお、今年度開催予定であった全国クリ研究大会は来年度に延期されました。



## 取材日記 「<sup>ごきやう</sup>五ヶ村村おこしグループ」

今回は、高千穂町岩戸の「五ヶ村村おこしグループ」(代表 工藤正任さん)におじゃましました。五ヶ村村おこしグループは、平成6年の天岩戸温泉開業にあわせて、地域の活性化を担おうと立ち上がった平均年齢60歳(発足当時)のメンバーで構成されるグループです。

「温泉茶屋」や「神楽の館」を建設・運営し、神楽ツアーや宿泊受入等、地域活性化に積極的に取り組んでいます。

9月18日は、国民宿舎ホテル高千穂とタイアップし、「観月祭」が行われていました。観月祭は、月明かりとかかり火に照らされた舞台での神楽を観光客の方々に観賞してもらうもので、この観月祭は今年で7回目を迎えました。

神楽8番を観賞してもらい、「七貴人(しちきじん)」の舞では、観光客の方の参加もあり盛り上がっていました。

また、料理は地鶏うどんや煮しめなどの神楽料理とかっぱ酒が振る舞われ、こちらも参加者



幻想的な雰囲気のもと神楽を観賞中です。お月様にも恵まれました！



五ヶ村村おこしグループのみなさん。いつも笑顔です！前列左から2人目が代表の工藤正任さん

に大変好評でした。

活動開始から月日が流れ、現在、平均年齢74歳の五ヶ村村おこしグループの皆さんですが、衰えを全く感じさせないパワフルさに圧倒されました！多少のクレームにも「いい勉強になったわい」と次に活かしていく前向きさ、見習わなくてはと思いました。

次は10月23日に「のまんね！こんね！」イベントがあるとか・・・

とても多忙な、それでいて生き生きした表情にあふれた皆さんに元気をもらった一日でした。(夢美)

## 坂本小学校 「命のアサガオ」



坂本小学校では、命のアサガオを各学年植え、大切に育てながら、人権、命の尊さ、思いやりなどの心を学んでいます。始業式だったこの日も、担当の子どもたちが水やりやそうじを一生懸命していました。

命のアサガオとは、平成5年9月に白血病で亡くなった新潟県の丹後光祐くんが生前大切に育てていたアサガオのことで、母まみ子さんはその後もこのアサガオを植え続け、その種を広げることで、命の大切さや白血病治療に有効な骨髄バンクのことを知ってもらおうと活動を続けておられます。

この活動を知った坂本小学校の特別支援員である福元和子さんが町全体に広げようと、何年か前から活動を続けていらっしやいます。商店街でも取り組んでもらえるなど、町内でも少しずつその輪が広がっているようです。



一生懸命お世話する児童たち



光祐くんへのメッセージ

### 編集後記

秋分の日を境に、ようやく涼しく過ごしやすいくなりました。

スポーツの秋、読書の秋、物思いにふける秋、そしてやっぱり食欲の秋！！

先日、高千穂ひのかげ栗で初めて渋皮煮に挑戦しました。手間のかかること、かかること。

食べ物が口に入るまでのさまざまな労力や愛情に感謝しながら、今日も美味しいものを求め続けます。(桃)

\*西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

### ◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

URL [http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki\\_shityo/index.html](http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html)